

令和5年度
社会福祉法人ファミリーケアサービス
事業報告

目次

事業報告

社会福祉法人ファミリーケアサービス	…p3
すこやか横手	…p3 ~ p4
特別養護老人ホームすこやか横手	
ショートステイすこやか横手(介護予防)	
ケアハウスすこやか横手	
老人介護支援センターすこやか横手	
すこやか横手居宅介護支援センター	
デイサービスセンターすこやか横手(第1号通所)	
すこやか横手ホームヘルパーステーション	
すこやか大雄	…p4 ~ p5
特別養護老人ホームすこやか大雄	
ショートステイすこやか大雄(介護予防)	
老人介護支援センターすこやか大雄	
居宅介護支援事業所すこやか大雄	
すこやか森の家	…p5 ~ p6
特別養護老人ホームすこやか森の家	
ショートステイすこやか森の家(介護予防)	
デイサービスセンターすこやか森の家(第1号通所)	
シルバードームいきいきの郷	…p6 ~ p7
特別養護老人ホームシルバードームいきいきの郷	
ショートステイシルバードームいきいきの郷(介護予防)	
デイサービスセンターシルバードームいきいきの郷(第1号通所)	
増田町居宅介護支援事業所	
増田町在宅介護支援センター	
すこやか館合	…p7 ~ p8
特別養護老人ホームすこやか館合	
ショートステイすこやか館合(介護予防)	
小規模多機能型居宅介護事業所すこやか館合(介護予防)	
児童発達支援事業「モモの家」	…p8
県南愛児園ドリームハウス	…p8
横手市サンハイム	…p9
障害者支援施設「ひまわり社」	…p9

事業報告(統計資料)

すこやか横手	…p11 ~ p13
すこやか大雄	…p14 ~ p16
すこやか森の家	…p16 ~ p18
シルバードームいきいきの郷	…p18 ~ p21
すこやか館合	…p21 ~ p23
児童発達支援事業「モモの家」	…p23
県南愛児園ドリームハウス	…p24
横手市サンハイム	…p24 ~ p25
障害者支援施設「ひまわり社」	…p25 ~ p26

令和5年度社会福祉法人ファミリーケアサービス事業報告

1. 社会福祉法人ファミリーケアサービス

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、職員への移動制限や報告等の依頼は解除している。また、職員やその家族の感染による療養期間について、高齢者施設は重症化リスクが高いため5類移行前の基準を運用した。新型コロナウイルス感染によるクラスターはなかったが、職員やその家族の感染により、休まなければならない状況が継続的にあり、職員体制に影響を及ぼした。

児童養護施設の整備は、計画通りに1分園を開設し、1分園の建設が終了した。

また、法人創立30周年記念事業を実施し、これまでの取り組み及び今後への理解を、地域や関係者に対して伝えることができた。

節減への取り組みについて、各施設共通した内容で職員に依頼した。継続性が必要な事項であり、今後につなげていきたい。

2. 特別養護老人ホームすこやか横手

上半期は前年度の影響から利用率が低迷したが、下半期は退所者数も減少し年間平均で見ると95%を超える利用率を達成できた。退所者のほとんどを施設にて看取り、その中で家族の面会も積極的に受け入れてきた。クラスター感染もなく感染対策についても一定の評価ができる。

<提供目標と実績>

目標 年間延べ17,586人(48.0人/日 利用率96.0%)

実績 年間延べ17,412人(47.6人/日 利用率95.2%)

<要因>

下半期の入院や退所者が少なかったことやクラスター感染を防止できたことが挙げられる。

3. ショートステイすこやか横手(介護予防)

新規利用の調整を確実に図れた事により居宅介護支援事業所との連携や信頼関係が築けた。

新型コロナの集団感染はなかったものの、風邪症状のある利用者を多床室から個室へ移動し適切な予防策を講じ、施設内で感染が拡大しないよう対策を徹底した。

利用率向上に向けた利用者のニーズ及び家族背景による柔軟な受入調整を図る事が今後も求められる。

<提供目標と実績>

目標 年間延べ 6,789人(18.6人/日 利用率93.0%)

実績 年間延べ 5,834人(15.9人/日 利用率79.7%)

<要因>

長期利用者の施設入所決定による退所や永眠、長期利用依頼のキャンセルなどの影響で目標とする利用率を達成する事が出来なかった。

4. ケアハウスすこやか横手

新型コロナウイルス感染症が第5類になり、以前に近い活動・行事を行うことができた。入居者は、前のような生活に戻りつつあることを喜んでいる。

入退きの状況は、入居3名、退去1名である。居住平均年数が4年、85歳以上14名、内90歳以上が9名とご入居者の高齢化が進み、支援・介護を必要とする方がほとんどである。家族やケアマネージャーと情報の共有をし、状況に応じて対応の提案をする等ケアハウスでの生活を継続できるよう支援している。

今後も引き続き感染症予防やご家族、関係各所と連携をし、入居者に楽しみを持ってもらいながら、ケアハウスでの生活を継続できるよう支援していく。

5. 老人介護支援センターすこやか横手

地域の高齢者等から様々な相談に応じ、各種の保健・福祉サービスが受けられるように関係機関との横断的連携により、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように支援を行った。また、各センターや地域包括支援センターと顔を合わせて状況報告や事例を通じた情報交換を行うことで、相互の連携とその機能の強化・推進を図っている。

6. すこやか横手居宅介護支援センター

平時のみならず利用事業所で感染症が発生した場合でも、利用者に対して必要なサービスが安定的且つ継続的に提供できるように調整し、地域で生活を継続できるように支援した。また、居宅介護支援センターの職員が感染症に罹った場合でも拡大させずに対処することができた。

<提供目標と実績>

目標：介護給付 125件/月

実績：介護給付 122.3件/月

<要因>

入院や介護老人保健施設への入所が多かったため。

7. デイサービスセンターすこやか横手（第1号通所）

5月から「地域密着型通所介護」へ切り替えてサービス提供を行った。認知症の利用者が多く、1対1での対応を求められ人手が欲しい部分があったが、制作活動や体操を行う時間を多くし個別ニーズに応えられるよう取り組むことができた。また、介護度3～5のご利用者の受け入れが約4割程度あり、重度の利用者に対するサービス提供も今後継続が求められる。

12月に職員の新型コロナ感染者が数名重なり1週間の休業をしたが、利用者への感染拡大はなく、今後も引き続き感染対策、予防を継続していきたい。

<提供目標と実績（定員18名）>

目標 年間延べ 4,712人（15.0人/日 利用率82.0%）

実績 年間延べ 4,486人（14.3人/日 利用率79.4%）

<要因>

下半期に、ショートステイ利用や体調不良による長期お休みの利用者が重なったことが挙げられる。

8. すこやか横手ホームヘルプステーション

介護職員不足の解消と経営改善への対応として、平成29年8月1日から事業を休止する。現在も休止中。

9. 特別養護老人ホームすこやか大雄

施設内での新型コロナ感染の発生（2回）の他、感染対策による勤務調整にて対象職員が出勤を控える事が重なる等、職員体制が厳しい状況となることもあったが、日々のケアについては、感染症予防・拡大防止に努めながらできる限りサービス計画に沿ったサービス提供を実施できた。冬期間を中心に持病の悪化や体調変化に伴う入居者の長期入院が重なった。

施設での看取りについて、今年度は退所者10名の内、5名の入居者が施設での最期を迎えられた。

<提供目標と実績（定員50名）>

目標 年間延べ17,338名（47.5名 利用率 95.0%）

実績 年間延べ17,379名（47.5名 利用率 95.0%）

<要因>

新型コロナの影響もあり、入居調整において情報収集や事前調査の調整等に時間を要すことも多くあった。

10. ショートステイすこやか大雄（介護予防）

施設内で2度新型コロナ感染が発生し、受け入れの一時中止期間があった。

日々の支援においては認知症の利用者の対応に苦慮する場面も多かったが、情報共有しながらサービス提供に努めた。また、感染対策に配慮しながらも季節の行事や畑の収穫、ユニット調理等の活動を利用者と一緒に行った。

職員の対応について利用者より指摘されることがあり、接遇対応の向上が引き続きの課題となっている。

<提供目標と実績（定員10名）>

目標 年間延べ3,660名（10.0名 利用率100.0%）

実績 年間延べ3,275名（9.0名 利用率 89.5%）

<要因>

新型コロナ感染や体調不良による入院、他施設への入所等による利用中止が多く、新規利用者の調整が追い付かない事により利用率が目標を下回った。

1.1. 老人介護支援センターすこやか大雄

相談窓口業務は施設入所関係が殆どであったが、介護サービス利用に関して相談を受けた際は居宅介護支援事業所と連携し対応を行なった。地域ケア会議や小ネットワーク会議等へも継続して参加し地域状況の把握に努めた。また大雄支えあいネットの構成員として会議に参加し、協議体活動への協力も行っている。年2回の包括・在介情報交換会にも出席し、地域課題を共有している。

<活動実績>

内 容 大雄地区ケア会議出席(6月)
大雄地区小ネットワーク会議出席(大雄地区2ヶ所実施 / 9ヶ所へ出席)
大雄支えあいネット(大雄地域第2層協議体)構成員として参加
包括・在宅介護支援センター情報交換会出席(8, 2月)

<相談実績>

相談件数：196件(施設入所関係184件)

1.2. 居宅介護支援事業所すこやか大雄

事業所移転後3年経過、介護保険認定申請やサービス利用の相談件数も増え、地域の相談窓口として広く周知されつつある。

各種研修会への参加や地域ケア会議での事例発表と、専門的知識・技術習得に努め、配属されている介護支援専門員の資質向上も図られている。

<提供目標と実績>

目標 介護給付管理 月間82.5件(予防含む)
実績 介護給付管理 月間56.0件 介護予防支援計画 月間6.83件

<要因>

新規利用者の獲得と居宅支援事業所の体制強化を図ることを目的とし、介護支援専門員の増員に向けた採用活動を行ってきたが増員に繋がらず、月間目標件数には到達しなかった。居宅との契約後に特別養護老人ホーム等の施設入所及び、状態悪化や利用意向の変更等の、実績に結びつかなかったケースも今年度は多くあった。

1.3. 特別養護老人ホームすこやか森の家

令和5年度の稼働目標は95%であったが、実績としては、94.3%と目標に到達しなかった。入退所件数としては、各5件と例年に比べ少なく、その内施設において看取った方は2名であり、病院で入院中に亡くなる方が多かった。年度前半は、退所件数、入院者数も少なかったが、年度後半の特に冬期間になり、長期の入院者が複数いた。

入所調整に関しては、退所件数は少なかったものの、入所まで約1ヵ月ほどかかっており、稼働を下げる要因となった。空床期間の短縮のため、平時から入所申込者の整理、時点候補者の選定を円滑に行っていく必要があると感じた。

新型コロナウイルス感染症は、第5類となったが、基本的な感染対策の実施に関しては、コロナ禍同様の対応を行った。家族との面会に関しても面会場所等に一部制限はあるものの、多くのご家族が面会に訪れたことにより、家族との触れ合いによる心身の落ち着き等の良い影響が多くあったように感じた。今後は、レクリエーションの一環としての外出行事等も積極的に実施し、制限のないゆとりある生活を過ごして頂けるよう支援をしていきたい。

<提供目標と実績(定員30名)>

目標 年間延べ10,402人(28.5人/日 利用率95.0%)
実績 年間延べ10,352人(28.3人/日 利用率94.3%)

<要因>

空床期間が長く、調整に時間を要したため。
年度後半に入院者数が増加したため。

1.4. ショートステイすこやか森の家(介護予防)

令和5年度の平均利用率は75.1%と前年度の82.3%と比べると大きく下回る状況となった。その要因としては、長期利用者の退所(特養入所や逝去など)の件数も多く、コロナによる利用のキャンセルや利用制限、また、職員状況による利用調整への配慮という点が主に挙げられる。4~12月は職員体制が十分に整わず、つなげることができなかった。8月にはショートステイにおける新型コロナウイルスの蔓延により利用率を50%まで落とすこと

となった。利用者・職員の体調観察と把握には今後も注力していかなければならない。

新規利用に関しては例年並みの受け入れを行うことができているが、稼働上昇の為にはそれ以上に積極的に受け入れ態勢を整えていく必要がある。

年間行事にもあげていた行事等に関しては、施設内で行えるイベントを中心とし様々な形で実施することができた。レクリエーション活動においても個々の状態に合わせ、短い時間の中でも気分転換や楽しみを持てるような活動が行えていた為、今後も継続していきたい。

<提供目標と実績（定員20名）>

目標 年間延べ6,643人（18.2人/日 利用率91.0%）

実績 年間延べ5,484人（15.0人/日 利用率74.9%）

<要因>

長期利用者の施設入所や逝去が目立った。

新型コロナの影響により利用をキャンセルとなるケースが多く見られた。

15. デイサービスセンターすこやか森の家（第1号通所）

令和5年度は1年を通して稼働が低い状態が続いた。新規利用者の受け入れは26名だったが、利用廃止者も24名とほぼ同数あり、長期の利用休止者も5名ほどになったため、稼働の減少につながっている。新規利用者の受け入れについては、積極的に受け入れていくことを目標にしてきたが、受け入れがない月もあった。また、新規で受け入れした利用者が継続的な利用に結びついていない状況もみられる。それに加えて定期で利用していた利用者の死去や施設入所などでの利用廃止、ショートステイ利用による利用キャンセルにより稼働が下がってしまった。

そのため、新規利用者の受け入れを増やすためにより柔軟な受け入れ体制を構築することと、受け入れした利用者が継続的に利用したいと思えるような利用者満足度の向上の繋がる対応を今後の目標としている。

また、令和5年度も新型コロナの施設内感染が発生し17日間の営業休止期間があり、デイサービス内での感染もみられたため、感染対策については引き続き気を緩めずに取り組んでいく必要がある。

良かった点としては、年度途中で退職者がなく職員体制が安定していたことと2月のかまくら行事である町内の小若梵天の施設内披露や夏祭りが再開となり地域交流が復活したことで、来年度も感染対策を行いながら利用者が楽しめる活動の再開を順次行って行きたい。

<提供目標と実績（定員25名）>

目標 年間延べ 5,840人（16.0人/日 利用率64.0%）

実績 年間延べ 4,323人（11.8人/日 利用率47.3%）

<要因>

新規利用者の依頼減少。

利用者の死去、利用中止、キャンセルが多い。

新規利用者の利用が続かない。

16. 特別養護老人ホームシルバードームいきいきの郷

独居や中重度者、養護老人ホームでの支援困難事例等、入居を必要とする方を幅広く受け入れた。

また、新型コロナ感染症が5類に移行したことに伴い、季節行事や面会も状況に応じながら実施し、楽しみが持てる生活に取り組んだ。

しかし、職員及びその家族の感染症から出勤停止者が継続的にあり、体制に影響があったものの、職員の勤務調整等への協力により一年間を乗り切ることが出来ている。

<提供目標と実績（定員50名）>

目標 年間延べ17,337人（47.5人/日 利用率95.0%）

実績 年間延べ17,077人（46.7人/日 利用率93.3%）

<要因>

前年度の新型コロナ感染影響により85.8%から始まった利用率も2月中旬までは目標である平均利用率95%に届く予定であった。しかし、2月後半からヒトメタニューモウイルスの集団感染ため利用率が低下した。

17. ショートステイシルバードームいきいきの郷（介護予防）

重点課題である利用者と家族に寄り添った支援のために、介護職員が利用者家族と接する機会や利用者の生活に触れられるよう、出来るだけ送迎に携わることを目標として取り組んだ。以前よりも送迎の機会は増えたものの、

感染症等で職員体制が整わない事も多く実績としては不十分であり、次年度への課題として残った。

<提供目標と実績(定員11名)>

目標 年間延べ 3,453人 (9.4人/日 利用率86.0%)

実績 年間延べ 3,098人 (8.5人/日 利用率77.0%)

<要因>

新型コロナ感染及びヒトメタニューモウイルスによる休止があったため。

18. デイサービスセンターシルバードームいきいきの郷(第1号通所)

可能な範囲で業務の効率化を進めて時間を作り、活動の準備や、歩行練習の関わりができるようになった。また、職員一人ひとりが介護知識、技術、役割意識を高め、リーダーシップを養えるよう会議の中で小さな勉強会を行った。

利用者家族へのスポット空き情報のお知らせに努め、広報誌「かだる」の中で空き情報をQRコードでお知らせすることで昨年度よりもスポットの相談は多くなっている。

<提供目標と実績(定員18名)>

目標 年間延べ4,470人(14.4人/日 利用率80.0%)

実績 年間のべ4,455人(14.3人/日 利用率79.6%)

<要因>

ほぼ目標には達したが、夏以降入院者やショートステイ利用の増加、入院から在宅復帰できなかつた方が多い状況があり、目標を上回ることが出来なかつた。

19. 増田町居宅介護支援事業所

介護予防の意識が高くなったことや、介護保険に関する情報を得る機会が増えてきており、軽度な状態から相談を受けることが多くなっている。また、介護保険以外の他制度の知識を学び包括的に支援が行えるよう各介護支援専門員が研修会への参加を通して理解を深めた。

中学生向け企業説明会の他、今年度は小学生向けの説明会へも参加している。

<提供目標と実績>

目標 125.0件/月 実績 111.4件/月

<要因>

新規依頼の件数は、前年度よりも増加しているが、新規依頼件数を上回る終了件数(施設入所やご逝去)があり、また総合事業対象者(要支援1.2等)が増加している。

20. 増田町在宅介護支援センター

地域の高齢者等から様々な相談を受け、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来るよう関係機関と連携を図り支援を行った。新規相談も増えているが、継続して支援を行っているケースが多くなってきている。

また、秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会主催の研修会に講師として参加し、関係者と共に学ぶことができた。

21. 特別養護老人ホームすこやか館合

入居調整について、上半期は退所が入所を上回り、また新型コロナ発生に伴い入所が遅れたこと等、やや出遅れたものの、年度末には入院者が数名いたが在籍人数がほぼ定員となった。今後も的確な状況判断と情報収集、事業所内のバランス等を考えて調整していきたい。感染症対策については、一般的な社会の認識と乖離のないように心がけた。サービス提供について、職員個々の意識、技術の差があることにより、提供するケアにも差が生じている場面が多々見受けられた。内外の研修への参加や体制の整備等によりケアの平準化を図っていきたい。地域交流活動について、次年度は積極的に地域へ目を向け、繋がりを意識した活動を実施していきたい。

<提供目標と実績(29名)>

目標 年間延べ 10,051人(27.5人/日 利用率95.0%)

実績 年間延べ 8,976人(24.5人/日 利用率84.6%)

22. ショートステイすこやか館合

コロナ発生に伴う新規受け入れ中止が重なったことや、新規受け入れの調整、職員の体制の不備があったこと稼

働の落ち込みがみられ、速やかな利用率の回復には繋げることができなかったことを今後の反省すべき点とし、令和6年度は目標達成のために尽力したい。新型コロナを含む感染対策や、それに伴う周辺の感染状況や利用者家族・親族の渡航歴の確認等の情報収集に努め、綿密な入所調整に心掛け、また安定したサービス提供につながる体制構築を図りたい。

<提供目標と実績（20名）>

目標 年間延べ5,472人（14.7人/日 利用率75.0%）

実績 年間延べ4,129人（11.3人/日 利用率56.4%）

2.3. 小規模多機能型居宅介護事業所すこやか館合（介護予防）

基本方針「楽しく、優しく、すこやかに」を職員信条として、目標である「安心できる地域生活の実現」に努めた。

新型コロナを含む感染対策の徹底について、ご利用者、ご家族にも感染対策を理解、協力をしていただき、感染状況を確認しながら、柔軟な利用形態の変更等工夫を行ったが、利用ニーズの不合致、送迎体制の不備（車両等）、1年を通して地域に潜在する支援が必要な高齢者が把握できていなく介入が難しいこと、また西部地区には事業所も多く、サービスを利用したい利用者がいても、他サービスでまかなえる為、多機能の強み（泊り、通い、訪問の組み合わせ）が活かせていないこともあり、利用率の減少に繋がっている。

<提供目標と実績（登録定員25人）>

目標 月間登録者数 17.0人（利用率 68.0%）

実績 月間登録者数 15.0人（利用率 60.0%）

2.4. 児童発達支援事業「モモの家」

令和5年度の在籍児童数は70名で、内訳は6歳児23名、5歳児20名、4歳児15名、3歳児8名、2歳児4名であった。新入園児は27名で、昨年度より1名少ないが例年並みであった。年間を通して利用実績は目標値には至らず、実績数増加への対応策として、急な欠席を見越して日々の受け入れ児童数を多めに設定、欠席児への個別指導日の変更案内、ST個別指導の15時枠増加などを講じてきたが、大きな改善には繋がらなかった。

児童及び保護者支援については、今年度もそれぞれのケースに合わせたきめ細やかな対応を目指し、職員間での情報共有や話し合いを密にし、必要に応じて関係機関と連携を取りながら行ってきた。個別支援計画の作成では、保護者の願いを汲み取るとともに、個々の発達段階や特性といった実態に沿った計画を目指し、画一的な内容にならないよう、職員間での支援会議を重視してきた。

<提供目標と実績（定員10名）>

目標 年間延べ 1,823人（7.5人/日 利用率75.0%）

実績 年間延べ 1,505人（6.2人/日 利用率62.0%）

2.5. 県南愛児園ドリームハウス

令和5年度、本園28名、地域小規模児童養護施設6名、合計34名でスタートした。年度内に家庭調整が進み4名が家庭復帰することができた。また年度末には5名が就職及び進学自立し、それぞれ自分が希望する道に進むことができた。今後も自立支援担当職員を中心に継続したアフターケアを行っていききたい。

短期利用等において、ショートステイ5人で延べ日数22日、レスパイトケア2人で延べ日数19日、緊急一時保護1名で延べ日数34日（相談依頼件数54件）という状況だった。入所には至らないが相談や依頼といったケースが増加している。今年度は入所率が高く、短期利用の相談に応えることが難しかった。利用ニーズを反映させ、今後の施設整備に活かしていきたい。

入所している児童の課題も複雑多岐にわたり、施設機能の強化や職員の支援技術の向上が求められ、一人ひとりに対応するために職員研修の充実を図った。当園ではここ数年、短期利用や一時保護等の地域子育て支援の福祉課題に直面しており、外部機関に職員を派遣し対応することができた。

今年度は2か所の分園型敷地外小規模グループケアを開設することができ、子どもたちの生活拠点を移すことができた。今後も新規施設整備に取り組むと共に、地域の児童福祉の拠点としての役割を十分果たせるよう努めたい。

2.6. 横手市サンハイム

令和5年度、入所世帯数は7世帯22名でスタートし、1年を通して増減がなかった。世帯数は少ないが、手厚い関り・見守りが必要な世帯が多く、24時間・継続的・個別的な支援を提供してきた。

また、5月に新型コロナの位置づけが第5類感染症へと変更となったのを機に、これまで自粛していた町内会との交流も再開した。4年ぶりに施設を開放し町内と協賛で納涼祭りをしたり、夏休みには 町内の「いきいきサロン」で、お年寄り子どもたちが昔遊びなどで交流を楽しむことができた。

指定管理の更新にあたり、次期は3年間としたが、施設の老朽化や利用率の低下に伴い、今後の施設のあり方について、次期更新期間の中で横手市と協議することとなっている。

2.7. 障害者支援施設「ひまわり社」

利用者本人やその家族の感染症等により欠席される方が数名居たものの、事業所内で感染拡大することはなかった。またコロナ感染症が5類となったことから、感染対策を十分にとりながら、事業所内外において季節ごとの行事を行い、利用者のリフレッシュへとつながった。

生産活動においては、清掃委託先の感染症状況により作業が中止になったり、配達委託先の経営方針により配達業務委託が中断する等があったが、定期納品のウエスをいつもより多く納品させて頂くように努め、工賃減少を食い止めた。

相談支援事業では、放課後等デイサービスの希望が多い傾向にある。

<提供目標と実績（定員20名）>

生活介護	目標	年間延べ1,695人（利用率85.0%）
	実績	年間延べ1,613人（利用率83.6%）
就労継続支援	目標	年間延べ2,488人（利用率85.0%）
	実績	年間延べ2,444人（利用率83.5%）
地域生活支援	目標	55.0件/月
	実績	46.9件/月
相談支援	目標	20.0件/月
	実績	18.9件/月

<要因>

生活介護・就労継続支援・地域生活支援ともに、新規利用者があったものの従来利用者の利用日数減等があり、前年度同程度の実績となった。相談支援は、時間を要するケース等があり目標に達することが出来なかった。

【 資料内の用語について 】

※インシデント報告

事故 県および市に報告したもの。（例：転倒してケガをしたために、報告した。）

インシデント 何らかの事象が生じたもの。（例：転倒したが、ケガはなかった。）

<この場合でも状況に応じて報告したものは、事故に区分>

ヒヤリ・ハット 何らかの事象が生じそうになり、ヒヤリ・ハットしたもの。

施設別利用実績

区分	施設	定員	利用率目標 (%)	年間延利用数 (人)	1日平均 (人)	利用率 (%)
特養	すこやか横手	50	96.0	17,412	47.6	95.2
	すこやか大雄	50	95.0	17,379	47.5	95.0
	すこやか森の家	30	95.0	10,352	28.3	94.3
	いきいきの郷	50	95.0	17,077	46.7	93.3
	すこやか館合	29	96.0	8,976	24.5	84.6
計		209		71,196	194.51	92.5
ショートステイ	すこやか横手	20	93.0	5,834	15.9	79.7
	すこやか大雄	10	100.0	3,275	9.0	89.5
	すこやか森の家	20	91.0	5,484	15.0	74.9
	いきいきの郷	11	90.0	3,098	8.5	77.0
	すこやか館合	20	80.0	4,129	11.3	56.4
計		81		21,820	59.61	75.5
デイサービス	すこやか横手	18	82.0	4,486	14.3	79.4
	すこやか森の家	25	64.0	4,323	11.8	47.3
	いきいきの郷	18	80.0	4,455	14.3	79.6
計		61		13,264	40.42	68.7

資料1 すこやか横手

特別養護老人ホーム

1. 年齢階層（令和6年3月31日現在）

平均：男性 87.2 歳 女性 88.5 歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	0	0	2	0	2	1	0	1	6
女	1	0	1	1	6	10	17	3	3	42
合計	1	0	1	3	6	12	18	3	4	48

2. 入居期間別状況（令和6年3月31日現在）

	～1年	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5年～	合計
男	2	0	0	2	1	1	6
女	8	10	8	1	3	12	42
合計	10	10	8	3	4	13	48

3. 要介護度（令和6年3月31日現在） 平均 4.06

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	2	3	1	0
女	0	0	8	22	12	0
合計	0	0	10	25	13	0

4. 退居理由（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	2	1	3
女	0	6	0	6
合計	0	8	1	9

5. インシデント年間集計（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
17	92	26	0	0	0	135

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
16	13	6	18	6	8	46	2	7	0	13

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

ショートステイ

1. 延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	455	476	465	497	496	483	486	477	528	515	481	475	5,834
平均介護度	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.2	3.2

2. インシデント年間集計（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
4	18	5	3	2	0	32

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
8	5	1	5	0	0	2	0	2	0	6

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	1	1	0

ケアハウス

1. 入居・退去状況

① 平均在籍期間（令和6年3月31日現在）

在籍年数	1～6ヶ月	1～2年	3～4年	4～5年	6～7年	8～9年	10年～	平均
人数	3	4	3	2	2	0	1	4.0年

② 年度内在籍数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延人数
男	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	56
女	9	10	10	10	10	10	10	10	11	11	11	11	123
計	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	179

老人介護支援センター

1. 相談件数 種別

(1) 相談件数

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	5	2	3	5	4	2	2	2	5	1	7	5	43
継続相談	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2

(2) 相談経路

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	2	0	0	2	4	2	0	2	0	0	2	0	14
電話	3	2	1	1	0	0	2	2	5	1	5	5	27
来所	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4

(3) 相談種別

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	5	2	3	5	4	2	2	4	5	1	7	5	45
福祉事業	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	5
医療・入院	2	1	0	1	0	0	0	2	0	1	2	1	10
施設入所	0	0	0	1	0	0	0	2	2	0	0	1	6
各種申請代行	4	1	1	4	3	1	1	1	3	1	5	2	27
あんしんバトン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	2	0	8
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

居宅介護支援センター

1. ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	32	34	35	34	37	39	37	38	41	35	35	31	31	459
2	25	29	29	28	27	28	28	28	26	27	28	32	29	364
3	24	27	25	23	26	25	23	25	27	29	29	29	29	341
4	13	10	11	16	14	16	17	13	14	17	15	14	14	184
5	6	10	14	7	6	5	8	5	7	6	5	5	7	91
合計	100	110	114	108	110	113	113	109	115	114	112	111	110	1,439

(予防プラン・認定調査件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	12	12	12	11	10	11	12	12	13	12	12	11	140
認定調査	在宅	4	1	2	4	1	4	7	2	3	7	1	7	43
	施設	0	1	1	5	0	1	0	2	0	2	1	1	14
	合計件数	4	2	3	9	1	5	7	4	3	9	2	8	57

デイサービス

1. 延べ人数及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	393	415	401	399	422	378	364	361	289	368	340	356	4,486
平均介護度	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4	2.5

2. インシデント年間集計 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
0	20	5	1	0	0	26

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬等	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
4	2	3	0	0	2	3	0	1	0	10

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	1	0

ホームヘルパーステーション 休止中

資料2 すこやか大雄

特別養護老人ホーム

1. 年齢階層（令和6年3月31日現在）

平均：男性 82.7 歳 女性 88.9 歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	1	0	2	3	2	2	0	0	10
女	0	1	1	3	2	8	16	5	1	37
合計	0	2	1	5	5	10	18	5	1	47

2. 入居期間別状況（令和6年3月31日現在）

	～1年	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5年～	合計
男	2	3	2	1	1	1	10
女	5	6	7	4	3	12	37
合計	7	9	9	5	4	13	47

3. 要介護度（令和6年3月31日現在） 平均 4.3

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	2	3	5	10
女	1	1	6	14	15	37
合計	1	1	8	17	20	47

4. 退居理由（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	2	0	2
女	0	8	0	8
合計	0	10	0	10

5. インシデント年間集計（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
16	37	17	3	0	0	73

発生内容

転倒等	服薬 飲み 飲忘 誤薬	車椅子 より 転落 等	ベッド より 転落 等	経管 栄養 管外 れ抜 去等	食事形 態確認 ミス異 食等	外傷 打撲 骨折 等	設備 管理 不備 等	移乗 移動 介助 ミス	その他 介 助ミ ス等	対応 提供 ミス	紛失 盗難	その 他
3	19	5	5	3	0	6	1	2	4	3	0	19

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
2	0	0	0	1

ショートステイ

1. 延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	261	283	252	249	290	250	263	241	295	319	277	295	3275
平均介護度	3.00	3.21	3.25	3.11	3.02	3.10	3.11	3.29	3.33	3.27	3.12	2.90	3.14

2. インシデント年間集計（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
4	18	13	1	0	0	36

発生内容

転倒等	服薬 飲み 飲忘 誤薬	車椅子 より 転落 等	ベッド より 転落 等	経管 栄養 管外 れ抜 去等	食事形 態確認 ミス異 食等	外傷 打撲 骨折 等	徘徊 無断 外出 等	移乗 移動 介助 ミス	対応 提供 ミス	紛失 盗難	忘れ 物	その他
4	7	0	1	0	2	4	2	0	2	0	11	4

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

老人介護支援センター

1. 相談件数 種別

(1) 相談件数

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	17	20	19	14	19	10	20	18	19	18	13	9	196
継続相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 相談経路

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話	2	4	0	1	1	0	2	1	2	0	0	1	14
来所	15	16	19	13	18	10	18	17	17	18	13	8	182

(3) 相談種別

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	3	4	0	1	1	0	2	1	2	0	0	1	15
福祉事業	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
医療・入院	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施設入所	15	18	19	13	18	10	18	17	17	18	13	8	184
各種申請代行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あんしんバト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

居宅介護支援センター

1. ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	28.5	14	16	15	14	16	17	17	17	15	17	18	16	192
2	33.4	23	22	20	20	19	18	16	17	18	18	16	18	225
3	23.9	10	12	15	13	12	15	16	15	14	13	13	13	161
4	8.9	5	4	4	4	4	4	5	5	5	4	6	10	60
5	5.2	4	3	3	3	2	2	2	4	3	3	3	3	35
合計		56	57	57	54	53	56	56	58	55	55	56	60	673

(予防プラン・認定調査件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	12	12	13	13	15	14	14	15	14	14	14	14	164
認定調査	在宅	2	2	1	0	0	0	1	2	2	3	1	1	15
	施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計件数	2	2	1	0	0	0	1	2	2	3	1	1	15

資料3 すこやか森の家

特別養護老人ホーム

1. 年齢階層（令和6年3月31日現在）

平均：男性 85.8歳 女性 88.3歳

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100～歳	合計
男	0	1	0	0	0	2	2	0	0	5
女	0	1	0	1	4	8	4	6	0	24
合計	0	2	0	1	4	10	6	6	0	29

2. 入居期間別状況（令和6年3月31日現在）

	～1年	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5年～	合計
男	1	2	0	0	2	0	5
女	3	4	2	2	3	10	24
合計	4	6	2	2	5	10	29

3. 要介護度（令和6年3月31日現在） 平均 4.03

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	1	2	2	5
女	0	1	4	13	6	24
合計	0	1	5	15	8	29

4. 退居理由（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	3	0	3
女	0	2	0	2
合計	0	5	0	5

5. インシデント年間集計（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
3	48	4	0	0	0	55

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
3	10	5	8	4	2	16	0	1	1	5

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

ショートステイ

1. 延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	508	497	447	484	312	476	473	445	478	482	436	446	5,484
平均介護度	3.05	2.98	2.95	2.87	2.92	2.62	2.56	2.63	2.67	2.63	2.61	2.66	2.76

2. インシデント年間集計（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
1	46	6	0	0	2	55

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
8	12	2	3	3	2	7	0	4	0	14

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

デイサービス

1. 延べ人数及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	401	386	392	400	188	404	417	401	358	342	321	313	4,323
平均介護度	2.3	2.3	2.4	2.2	2.3	2.2	2.3	2.3	2.2	2.2	2.2	2.2	2.26

2. インシデント年間集計（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
0	27	5	2	0	0	34

発生内容

転倒等	服薬飲 み忘れ 誤薬等	車椅子 より 転落等	ベッド より 転落等	経管栄 養管外 れ 抜去等	食事形 態確認 ミス異 食等	外傷 打撲 骨折等	徘徊 無断 外出等	設備 管理 不備等	移乗移 動介助 ミス	その他 介助 ミス等
5	2	1	0	0	4	7	0	2	0	11

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
2	0	1	0	0

資料4 シルバードームいきいきの郷

特別養護老人ホーム

1. 年齢階層（令和6年3月31日現在）

平均：男性 86.4 歳 女性 86.3 歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	0	1	0	1	3	2	1	0	8
女	0	0	3	3	7	12	9	2	1	37
合計	0	0	4	3	8	15	11	3	1	45

2. 入居期間別状況（令和6年3月31日現在）

	～1年	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5年～	合計
男	5	1	0	0	1	1	8
女	6	7	7	8	3	6	37
合計	11	8	7	8	4	6	45

3. 要介護度（令和6年3月31日現在） 平均 4.64

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	1	2	5	8
女	0	0	0	12	25	37
合計	0	0	1	14	30	45

4. 退居理由（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	3	0	3
女	0	13	0	13
合計	0	16	0	16

5. インシデント年間集計（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
4	61	18	0	0	0	83

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
1	0	3	16	19	8	31	0	0	0	5

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

ショートステイ

1. 延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	290	293	284	292	294	243	253	271	272	242	246	118	3098
平均介護度	3.7	3.7	3.5	3.3	3.6	3.9	3.9	3.6	3.5	3.4	3.2	3.6	3.5

2. インシデント年間集計（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
1	33	3	1	0	0	38

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
4	0	1	3	1	1	11	0	0	0	16

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

デイサービス

1. 延べ人数及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	378	415	391	365	377	355	374	359	345	320	365	411	4455
平均介護度	2.4	2.4	2.4	2.4	2.3	2.3	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.3	2.3

2. インシデント年間集計（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
0	28	29	0	0	0	57

発生内容

転倒等	服薬飲 み忘れ 誤薬等	車椅子 より 転落等	ベッド より 転落等	経管栄 養管外 れ 抜去等	食事形 態確認 ミス異 食等	外傷 打撲 骨折等	徘徊 無断 外出等	設備 管理 不備等	移乗移 動介助 ミス	その他 介助 ミス等
23	3	0	0	0	3	3	0	0	1	24

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

居宅介護支援センター

1. ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	20.4	18	20	19	20	20	21	21	19	18	18	21	21	236
2	38.3	40	38	41	37	35	35	37	37	35	35	36	37	443
3	18.7	17	18	18	20	17	17	17	18	18	18	19	20	217
4	14.8	18	17	18	18	15	14	12	11	11	11	13	13	171
5	7.9	9	9	11	11	9	8	7	5	5	6	5	6	91
合計	100	102	102	107	106	96	95	94	90	87	88	94	97	1158

(予防プラン・認定調査件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	23	27	26	26	26	25	26	25	25	26	28	27	310
認定 調査	在宅	1	3	0	3	3	3	4	5	6	7	5	2	42
	施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計件数	1	3	0	3	3	3	4	5	6	7	5	2	42

老人介護支援センター

1. 相談件数 種別

(1) 相談件数

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	3	9	1	2	5	4	2	2	6	1	5	3	43
継続相談	0	0	1	1	1	1	2	2	0	1	2	1	12

(2) 相談経路

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪 問	1	4	2	3	4	1	3	3	2	1	1	2	27
電 話	2	5	0	0	2	2	1	1	4	0	0	2	19
来 所	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	6	0	10

(3) 相談種別

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	3	6	2	2	6	4	1	4	5	2	4	4	43
福祉事業	1	4	1	1	0	1	0	1	2	1	1	0	13
医療・入院	0	2	0	0	1	2	1	0	1	0	0	0	7
施設入所	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
各種申請代行	1	5	0	1	1	1	0	2	1	0	2	2	16
あんしんバトン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症	0	1	0	0	0	0	1	3	1	0	1	1	8
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資料5 すこやか館合

特別養護老人ホーム

1. 年齢階層（令和6年3月31日現在）

平均：男性 87.4 歳 女性 89.7 歳

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100～歳	合計
男	0	0	0	1	1	1	4	0	0	7
女	0	0	0	0	3	7	8	3	0	21
合計	0	0	0	1	4	8	12	3	0	28

2. 入居期間別状況（令和6年3月31日現在）

	～1年	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5年～	合計
男	3	4	0	0	0	0	7
女	9	2	3	4	1	2	21
合計	3	6	5	2	1	3	28

3. 要介護度（令和6年3月31日現在） 平均 4.18

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	0	5	5	7
女	0	1	3	12	5	21
合計	0	1	3	14	10	28

4. 退居理由（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	3	1	4
女	0	5	0	5
合計	0	8	1	9

5. インシデント年間集計（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
4	50	19	0	0	0	73

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ 誤薬	車椅子 より 転落等	ベッド より 転落等	経管栄養 管外れ 抜去等	食事形態 確認 ミス異 食等	外傷 打撲 骨折等	徘徊 無断 外出等	設備 管理 不備等	移乗移 動介助 ミス	その他 介助 ミス等
7	2	1	10	6	2	20	0	0	0	6

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

ショートステイ

1. 延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	363	391	408	380	266	274	331	291	336	375	365	349	4,129
平均介護度	2.82	2.26	2.18	3.00	2.07	1.96	2.10	2.43	2.48	2.47	2.27	2.53	2.38

2. インシデント年間集計（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
1	32	9	1	0	0	43

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ 誤薬	車椅子 より 転落等	ベッド より 転落等	経管栄養 管外れ 抜去等	食事形態 確認 ミス異 食等	外傷 打撲 骨折等	徘徊 無断 外出等	設備 管理 不備等	移乗移 動介助 ミス	その他 介助 ミス等
10	4	0	0	0	3	0	0	0	1	14

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	1	0

小規模多機能型居宅介護

1. サービス利用状況

利用実績内訳（介護給付）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	238	210	232	247	229	229	254	243	288	283	274	259	2986
泊り	86	95	93	106	99	102	111	129	136	140	128	145	1370
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

利用実績内訳（介護予防）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	40	36	56	42	44	50	63	61	65	80	77	59	673
泊り	3	3	30	5	3	0	3	0	0	28	28	0	103
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2. インシデント年間集計（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
0	18	4	1	0	0	0

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
1	5	0	1	0	0	2	0	0	0	9

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

資料6 児童発達支援事業「モモの家」

1. 入退園状況（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

区分 性別	本年度入園児童数	本年度卒退園児童数				計	次年度へ移る
		普通	特学	支援学校	その他		
男	57	3	8	5	0	16	41
女	13	4	3	0	1	8	5
計	70	7	11	5	1	24	46

2. 年齢別表（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

年齢 人数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児	その他	合計
合計	0	0	4	8	15	20	23	0	70

4. 月別通園状況（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

月別 内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通園延べ人数	111	120	116	130	127	116	138	128	131	123	140	125	1,050
療育日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243
平均人数	5.55	6.30	5.27	6.50	5.77	5.80	6.57	6.40	6.55	6.47	7.37	6.25	6.23

5. 障害の種別（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

障害別 性別	身体障害者手帳有	診断名有 (知的障害)	診断名有 (自閉症 [※] ・外傷・注意欠陥多動障害等)	診断名有 (ダウン症・てんかん等)	その他	合計
男	0	5	10	2	40	57
女	0	3	2	1	7	13
合計	0	8	12	3	47	70

資料7 県南愛児園「ドリームハウス」

1. 在籍状況（毎月1日現在）

本園

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
28	28	28	28	29	28	27	28	28	28	30	30

(平均 28.3 人/月 利用率 94.4%)

分園（地域小規模児童養護施設きずな）

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

(平均 6 人/月 利用率 100%)

2. 短期利用等状況（一時保護、ショートステイ）（月延べ人数実績）

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
ショートステイ	2	0	0	6	0	2	12	0	0	0	0	0	22
一時保護	0	0	0	11	23	0	0	0	0	0	0	0	34
レスパイト	2	6	7	2	2	0	0	0	0	0	0	0	19

3. 出身地別

(単位：人)

横手市	秋田市	仙北市	大仙市	湯沢市	由利本荘市	潟上市	美郷町	合計
10	5	2	8	5	2	1	3	36

4. 学年別

(単位：人)

	幼児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	計
男子	0	0	2	0	0	1	0	1	0	3	3	2	2	14
女子	1	2	1	0	2	0	5	1	4	0	2	1	3	22
計	1	2	3	0	2	1	5	1	4	3	4	2	4	36

資料8 横手市サンハイム

1. 入退所及び一時保護の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	世帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	世帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1日 在籍	世帯	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
	児童	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
	合計	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
一時保護 【人】		0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3

2. 措置機関別世帯数

地域別	横手市	羽後町	秋田市	広域	合計
世帯数	4	2	1	0	7
子どもの数	9	5	1	0	15

3. 世帯構成数

家族の人数	2人	3人	4人	5人	合計
世帯数	1	4	2	0	7

4. 入所理由

夫等の暴力や 家族からの虐待	入所前の家庭環 境の不適切	母親の心身の 不安定	住宅及び経済事 情	その他（死別 等）
3	2	0	2	0

5. 母の年齢

母の年齢	20代	30代	40代	50代
人数	0	5	2	0

6. 児童の学年

学年	0～2歳児	3～5歳児	小1～3	小4～6	中学生	高校生	合計
男	0	2	1	1	3	1	8
女	0	1	2	2	2	0	7
合計	0	3	3	3	5	1	15

資料9 障害者支援施設「ひまわり社」

1. 利用者延人数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	129	122	152	138	139	133	135	137	142	129	133	142	1631
就労B	201	183	202	196	208	202	214	207	217	194	209	211	2444

利用者数（人）

性別	男性	女性	合計
生活介護	10	2	12
就労B	9	4	13

3. 障がい種別（人）

	知的	身体	精神	合計
生活介護	11	3	1	15
就労B	11	2	2	15

※重複あり

4. 障がい程度区分

区分	1	2	3	4	5	6	平均区分
生活介護	0	0	0	6	4	2	4.66
就労B	—	2	2	—	—	—	2.50

5. 日中一時支援事業 利用者延人数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日中一時支援	44	65	53	44	44	49	56	51	32	37	46	42	563

6. 相談支援事業利用者件数（新規・モニタリングを含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談支援 (計画・児)	31	16	27	13	18	20	16	21	18	18	13	16	227